資料1

令和6年度　南区まちづくり推進事業 実績報告

令和6年度　南区まちづくりの取組み

（単位：千円）

No.	事業名	予算額
	防災力の向上によるまちづくり	1,628
1	防災に強いまちづくり事業	870
2	南区防災バスツアー開催経費	758
	区の推進テーマに応じたまちづくり	4,823
3	南区こどもの交通安全対策事業	200
4	終末期医療に関する啓発事業	800
5	口腔ケア及び生活習慣病の予防等に関する啓発事業	1,298
6	南区管内子育て支援ネットワーク応援事業	355
7	地域資源活用事業	350
8	デジタルでつなぐ"たからもの"活用事業	1,000
9	南区ノベルティグッズ制作事業	400
10	美化活動啓発事業	420

No.	事業名	予算額
	地域の特性・課題に応じたまちづくり	9,818
11	木原神楽　文化継承・啓発事業	1,200
12	ICT講座事業	350
13	ボッチャ交流イベント	523
14	eスポーツによる健康まちづくり事業	1,240
15	モルック交流会事業	468
16	飽田企画	500
17	わがまちアイデアコンテスト	284
18	地域コミュニティづくり支援事業	3,362
19	地域緊急課題対応事業	1,891
	住民と行政の協働によるまちづくり	2,731
20	城南地域ブランド力向上推進事業	1,921
21	地域とつくるまちづくりイベント事業	200
22	南区"いきいき"地域連携事業	300
23	南区まちづくり懇話会	310
	南区まちづくり推進経費　合計	19,000

1　防災に強いまちづくり事業（総務企画課）

目的

◆南区では、地域防災組織として校区防災連絡会、避難所運営委員会、自主防災クラブが結成されている。南区在住の防災リーダー（防災士）を育成し、各防災組織等と連携させることで、双方の活動の活性化を図り、地域防災力の向上に繋げる。

内容

R4～5年度防災のまちづくりリーダー育成事業において地域における防災のリーダーとして防災士のスキルアップを対象とした研修を実施するとともに、受講した防災士と校区防災連絡会等の地域防災組織との連携をテーマに防災研修会を開催し、地域の繋がりをつくる事業を実施。

　R6年度についても、各地域防災組織が連携して活動する体制づくりを目的として事業を実施する。

〈予定〉 令和7年1月24日時点

<u>南区防災研修会</u>

日時：令和7年(2025年)2月1日(土)10：00～12：00

会場：飽田まちづくりセンター・公民館　多目的ホール

参加者：校区防災連絡会・防災士(南区在住)

２　南区防災バスツアー開催経費（総務企画課）

新規事業

目的

◆県内の震災遺構等を訪れ、熊本地震の記憶の風化を防ぐとともに、区民の防災減災意識を高める。

内容

◆バスで県内の震災遺構等を巡り、発災時の様子や被災状況、規模や痕跡等について学ぶ。また、バス移動中は防災士がガイド役を務め、防災に関してのクイズや防災減災についてわかりやすい説明を行う。さらに、参加者は実際に防災食を試食し、ローリングストックの説明も受けることで、日ごろからの備えについての知識を習得する。
（定員40名を予定）

〈実績〉

熊本市内在住の小学生親子を対象とした南区防災バスツアーを開催

日時：令和6年8月10日(土)、令和6年9月28日(土)

場所：熊本地震震災ミュージアムKIOKU、益城町復興まちづくりセンターにじいろ

内容：熊本地震被災地である南阿蘇村の視察、防災士バスガイドによる防災関連ゲームや防災食の調理試食体験、語り部による講話などを行った。参加者からは、地震の記憶が薄れて行く中で、改めて防災や備える事の大切さを学び、地震を知らない子どもたちにとってとてもよい勉強になった。などの声をいただいた。

3　南区こどもの交通安全対策事業（南区土木センター）

目的

◆南区のキャラクターを活用した「止まれ」等の表示を視覚的に入れることで、学童の交通安全の意識を高め、南区のキャラクターの認知度上昇により南区としての一体感の醸成を図る。

内容

・南区のキャラクターと「止まれ」などの文字を一緒にプリントしたもの（グラフィックサイン）を通学路等の横断歩道付近に設置する。
・通学路の安全対策としてスクールゾーンのライン入れ等を実施する。

【実績】

(1)スクールゾーン内の歩道等に【とまれ】の路面標示貼り付け（7箇所）

銭塘小・川尻小・飽田西小・力合小・力合西小・川口小・中緑小のスクールゾーン内の交差点

(2)公園の出入り口にある看板に公園ルールと飛び出し注意の標識作成（6箇所）

刈草中央公園・笛田中央公園・田迎二丁目公園・御幸笛田一丁目公園・八幡楠分公園・白藤公園の出入看板

御幸笛田１丁目公園内

川口小学校校門前

4　終末期医療に関する啓発事業（福祉課）

目 的

◆南区地域包括ケアシステム推進方針に基づく「終末期医療」の啓発を重点的に行うことで、広く区民への理解度を深めることを目的とする。

実 績

◆第４回南区人生会議の日
国が定めた人生会議の日（11/30）に合わせて、イベント（パネルディスカッション）を開催。
➢ 日時：11/23（土）10時～12時
　場所：済生会熊本病院　参加者：256名

◆人生会議セミナー
福祉施設等において、小単位での啓発を実施。
➢ 回数：4回（5/19、7/23、8/7、10/26）　参加者：117名

◆高齢者入居施設での看取り支援専門職派遣事業
助言を希望する施設に、看取りケア経験が豊富なスタッフを派遣し、施設職員の不安の軽減やスキルの向上を目指した。
➢　派遣回数4回（予定を含む）

５　口腔ケア等に関する啓発事業

目的

◆区民の口腔衛生に対する関心を高めるとともに、地域の企業等や歯科医療機関やと連携し、区民の歯や口の健康づくりの活性化を図る。

実績

＜富合小学校＞日　時：令和6年11月7日（木）13:00～13:45

対象者：１年生保護者　26名　場所：富合小教室

・講話　「口腔内からの健康づくり」歯科衛生士

「生活習慣病予防の食生活」管理栄養士

＜南区まちづくり懇話会＞日　時：令和6年11月19日（火）10:35～11:30

対象者：懇話会委員、職員　29名　場所：富合雁回館

・講話「口腔内からの健康づくり」歯科衛生士

「生活習慣病予防の食生活」管理栄養士

「生活習慣病について」保健師

＜飽田東小学校＞日　時：令和6年11月26日（火）11:40～12:20

対象者：１年生保護者　45名　場所：飽田東小教室

・講話「口腔内からの健康づくり」歯科衛生士

「生活習慣病について」保健師

歯科衛生士講話を聴く委員

保健師講話を聴く保護者

６　南区管内子育て支援ネットワーク応援事業（保健こども課）

新規事業

目的

◆校区（地区）子育て支援ネットワークに対し、情報共有の機会を持つための支援や、取り組みの支援を行う。
子育て支援者（団体）や関係機関の活動を支援することで、いる課題を共有し、支援策を検討することができ、多方面から子育それぞれが感じてて世帯をサポートする、「地域ぐるみでこどもを育てるまち」の充実につなげる。

実績

〇子育て支援ネットワーク合同研修会　演劇鑑賞会（飽田西校区）

・日時　：　R6.7.5

・内容　：「おもいやり」や「人との関わり」をこどもたちにどう伝えていくかをテーマ

・参加者：保護者・地域住民・学校教諭ら７０人

〇みんなが光輝く町づくり大作戦　～城南小校区の未来へ～（城南校区）

・日時　：第１回：R6.10.1、第２回目：R6.10.3

・内容　：第１回：子どもと保護者、地域役員等がスポーツレクリエーションを通して交流を深める。

第２回目：子どもと地域の人と一緒に課題やテーマについて考える。

・参加者：第１回：城南小学校こども・保護者・地域住民・学校教諭ら５２人

第２回目：城南小学校こども・地域住民・学校教諭ら 49 人

〇熊本市主任児童委員部会南区ブロック研修会

・日時：R7.1.24

・内容：不登校の子を持つ親への対応

・参加者：主任児童委員２３人

飽田西校区

城南校区

7　地域資源活用事業（総務企画課）

目的

◆特産品や伝統文化を活かしたイベントの実施により、農水産業や伝統文化への関心を高める。
◆次世代を担う子どもたちが親子で“体験”する機会を提供することで、食農教育の推進や、地域の魅力発掘・再発見を生み出す。

実績

◆**第１回 南区おいしいもの収穫体験・料理体験**
期　日：令和6年（2024年）6月16日（日）
参加者：10組28名（小中学生 15名、保護者13名）
内　容：①トマトの収穫体験（天明地区トマト農園）
②トマトの料理体験（こどもキッチンブルービー）

◆**第２回 南区おいしいもの収穫体験・料理体験**
期　日：令和7年（2025年）1月26日（日）
参加者：11組29名（小中学生 15名、保護者14名）
内　容：①いちごの収穫体験（城南地区いちご農園）
②民話の読み聞かせ体験（城南町民話の会）
③いちごの料理体験（こどもキッチンブルービー）

8　デジタルでつなぐ“たからもの”活用事業（総務企画課）

新規事業

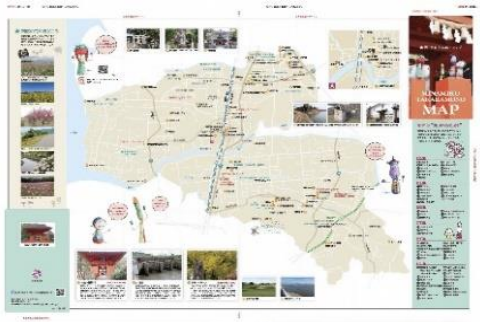
目的

◆スマホを活用した誰でも参加できるデジタルスタンプラリーを実施し、こどもから高齢者まで幅広い世代に参加してもらうことで、外出のきっかけをつくり、健康増進につなげるとともに、デジタル活用の促進と南区の魅力発信を図る。

実績

◆スマートフォンアプリ「SpotTour」を利用し、「南区たからものマップ」に掲載されている各地域の文化財や史跡等をチェックポイントに設定し、すべてのスタンプを集めた参加者の中から抽選で南区の特産品等をプレゼントした。

◆第１弾
期　　間：9月1日～9月30日
参加者数：422名
◆第２弾
期　　間：10月1日～10月31日
参加者数：277名
◆第3弾
期　　間：11月1日～11月30日
参加者数：243名
参加者数合計：942名



９　南区ノベルティグッズ製作事業（総務企画課）

目 的

◆南区ノベルティグッズを製作し、イベント等で配布することで、南区への親しみと区のキャラクターの認知度向上、区の一体感の醸成が期待できる。
南区シンボルマークやキャラクターをあしらったノベルティグッズを製作し、南区で実施するイベント等で配布することで区民に視覚的にアピールする。

実 績

【製作品・数】
- クリアファイル　2000枚
- キャラクターシール　2000枚
- 自由帳　1000冊

【提供先】
- モルック大会
- 飽田健康まつり
- 南区人生会議

などの各種イベント参加者に対し配布

10　美化活動啓発事業（総務企画課）

新規事業

目的

◆こどもたちが環境について自分自身にできることを考え、環境への責任ある行動をとれる態度を育成することにつながる。さらに、こどもたちが取り組むことで、親世代等にも身近な社会問題としての啓発を図る。また、市民への広報を通じて地域住民の美化意識の向上を図る。

実績

◆『南区まち☆キラコンクール』として夏休みの期間に“ごみ出しルールを守ろう”をテーマにポスターを募集。
南区管内の小学校２１校のうち１６校から合計８９点の応募があった。
入賞作品については、南区まちづくり懇話会にて選定。
最優秀賞１点、区長賞１点、懇話会賞１点、優秀賞６点

★最優秀賞★

☆区長賞☆

☆まちづくり懇話会賞★

11　木原神楽 文化継承・啓発事業（富合まちセン）

新規事業

目 的

◆熊本市郷土文化財第3号に認定された「木原神楽」について、認定を契機として、改めて地域住民に広く周知し、地元における重要な文化として伝承していくため、「木原神楽」の歴史をまとめた映像作品を製作し、小中学校や地元自治会等への配布、アスパル富合等の公的機関で上映を行い、「木原神楽」の認知度向上、地域定着を図る。

実績

【契約期間】　令和6年6月24日～令和７年2月28日

【受託者】　株式会社　熊日広告社

【収録内容】
- 六殿神社宮司による六殿宮の歴史解説
- 神楽保存会代表による神楽保存の意義
- 神楽舞手へのインタビュー、練習風景
- R6六殿宮例大祭当日の舞の様子
- R6六殿宮例大祭当日の神事の様子（馬追・流鏑馬神事）　ほか

【今後の方針】　地域自治会等への配布、小中学校での授業活用、市ＨＰでの配信

12　ICT講座事業（富合まちセン）

目的

◆小学生にタブレットが貸与されるようになったものの、スマホやＳＮＳ利用については十分な教育機会が設けられていない。スマホやＳＮＳの適切な利用ルールや具体的なリスクを児童と保護者が共に学ぶことによって、情報リテラシーの重要性を理解する。

実績

◆（仮題）親子でレベルアップ！「一緒に学ぶスマホ・ゲームとの付き合い方教室」

【日　　時】　令和７年3月22日（土）、29日（土）（各2時間程度）

【場　　所】　アスパル富合　研修室

【受講予定者】　（スマホ利用を検討中の）小中学生の親子40組

【予定内容】　【１日目：保護者のみ】

〇近年のスマホ・SNSトラブルに関する事例紹介

〇適切な使用に向けた保護者が知っておくべき管理設定　等

【２日目：親子ワークショップ】

〇家庭内での利用ルール策定に向けたポイント

〇スマホ・ゲーム・動画視聴のルール作り

13　ボッチャ交流イベント（幸田まちセン）

新規事業

目的

◆「まちづくりサロン in 幸田」で提案された、『スポーツを通じて交流』という意見をもとに、パラスポーツの一つであるボッチャによる交流を図るイベントを開催する。
こどもも大人も一緒に楽しめるボッチャを採用することで、幅広い年代同士の交流が期待できる。

内容

◆ボッチャ大会
幸田地区内の４つの小学校区の中で、チームを結成し参加してもらい、トーナメントを行う。優勝者には景品を贈呈する。
◆ボッチャ観戦・応援会
パラリンピックの公式種目であるボッチャを観戦、応援会を行う。ボッチャ大会を行うことで、ボッチャに対する関心をあらかじめ高めて、より深い交流を図る。

実績

◆ボッチャ大会
　開催日時：R6.7.20（土）13時から
　参加人数：25名（小学生及び保護者）
◆ボッチャ観戦・応援会
　開催日時：R6.8.27～9.6 8:30～17:15
※期間中は常時放映し、来館者が自由に視聴できる状態としたため、参加者等の把握はなし。なお、この期間中の来館者は延べ451人。

14　eスポーツによる健康まちづくり事業（天明まちセン）

新規事業

目 的

◆ｅスポーツは脳の活性化及び認知機能の維持・向上も期待されている。特に高齢者はｅスポーツを行うことでデジタル機器への抵抗感が軽減されスマホ等の利用促進にも繋がる。

実 績

◆高齢者向けｅスポーツ体験会
日時：令和6年７月９日(火)他２回　【参加者累計　33名】
地域の高齢者を対象に体験会を実施。今後、公民館講座でも実施予定。
参加者の95%以上の方から好評価の声をいただいている。

◆ｅスポーツ大会＆体験会
日時：令和6年7月20日(土)　【参加者　約80名】
今年度は千原台高校ｅスポーツ部と協力し、まちづくりセンターで地域の住民を対象に「ｅスポーツ大会in天明」を開催。
天明地域のこどもを中心に家族連れが多数参加。

高齢者ｅスポーツ体験会の様子←

→ｅスポーツ大会＆体験会のようす

15　モルック交流会事業（天明まちセン）

新規事業

目的

◆地域住民の外出の機会を増やし、こどもから高齢者まで幅広い住民を対象とすることで、世代間交流を図り、地域の担い手の発掘と育成に繋げる。

内容

◆地域公民館や小学校に出向き、高齢者及びこどもを対象に受講者を募集し「モルック体験会」を開催。また、天明校区全体を対象としたモルック大会と体験会を開催。

《実績》

〇天明地域市民のつどい（モルック体験会）
- 日時　：令和６年９月28日（土）
- 参加者：130名（累計）

〇天明地域モルック大会＆体験会
- 日時　：令和６年11月16日（土）
- 参加者：69名（うち大会参加者55名）

〇地域イベント
- 地域食堂モルック体験会外8回（参加者：計274名）

合計：473名

〇その他
- モルック道具貸出：計7回

※地域団体（又は個人）が借用され、地域コミュニティ活動に使用された。

16　飽田企画（飽田まちセン）

新規事業

目的

◆地域主体のまちづくりの一歩として、地域住民が楽しみながらイベントを企画し、実行できる仕組みづくりを目指す。「こういう企画をやってみたい」という気持ちを後押しすることで、まちづくり事業への積極的な参画につなげる。

実績

◆地域の有志、企業、まちセン、委託業者等で構成する「飽田企画」という架空のイベント企画会社をイメージしたプロジェクトチームを立ち上げた。
地域コミュニティの活性化をテーマに、メンバーが「やってみたい」企画を持ち寄り、実現に向けた会議を行った。
　通算4回の企画会議を経て、「あきたのちいさなマルシェ」を開催した。企画メンバーが出店し、パンや焼き菓子、おにぎり等を提供した。人形劇、マジック、ガラポン抽選等のお楽しみ企画も用意し、大人から子どもまで幅広い年代が楽しめるイベントとなった。

開催日：令和６年(2024年)６月２３日(日)
　　11:00～14:00
場　所：飽田まちづくりセンター
来場者：約200人

17　わがまちアイデアコンテスト（南部まちセン）

新規事業

目的

◆ 次世代を担うこどもたちに、地域の魅力再発見と地域愛醸成の機会創出を図り、自分たちもまちづくりの主役であるという意識醸成、社会に参画しようとするきっかけづくりを行う。
こどもたちが出したアイデアをヒントに、様々な世代が生き生きとできる地域行事や地域活動につなげる。

実績

【募集期間】令和6年8月29日～令和6年9月6日

【募集対象】南部まちづくりセンター管内の小中学校
（６小学校、3中学校）

【募集内容】・小学生（絵画の部）
：未来に残したい、まちのすがた
・中学生（企画提案の部）
：自分たちが、まちの未来のために今できること

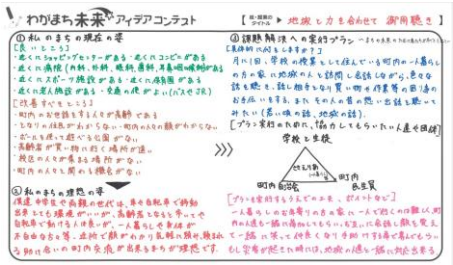
【応募状況】小学生　719作品、中学生　7作品
（各校区自治協議会長、まちづくりセンター所長にて審査）

【表彰式】　令和6年11月10日　南部まちづくりセンターホール

【表彰】　各部門　最優秀賞1点、入選5点、特別賞1点・佳作

【賞品】　最優秀賞（防災リュック等）、入選・特別賞（文具類）

【参加賞】　南区オリジナルクリアファイル



18　地域コミュニティづくり支援事業（総務企画課）

目的

◆地域の課題解決や、地域コミュニティの活性化に取組む団体に対して、その費用の一部を助成することで、そうした活動の活性化と新たなまちづくり団体の育成を図る。

実績

◆R6.7.8　審査会開催

- 申請件数17件のうち採択件数16件（継続：4件、新規：12件）
  採択事業：城南夏祭り、中緑もちもち交流フェスタ　など
- 補助金申請額3,895,000円のうち3,396,000円を交付予定

城南夏祭り

中緑もちもち交流フェスタ

鳶町どろん子祭り

19　地域緊急課題対応事業（総務企画課・全まちセン）

目的

◆突発的に発生した地域課題、地域ニーズに対して、迅速に対応することで、まちづくりの推進を図る。

内容

◆次年度予算を編成して課題を解決するのではなく、課題が出てすぐに解決することで地域のまちづくりの機運を逃さず活動につなげ、自主自立のまちづくりを支援する。

◆R６年度実績◆

- 【富合】富合校区立ち寄りスポットマップ作成業務委託
- 【南部】地域とつくるウォールアート事業
- 【富合】地域人材活用事業
- 【天明】花と緑のまちづくり事業　など

ウォールアート事業の様子

20　城南地域ブランド力向上推進事業（城南まちセン）

目 的

- まちづくりを担う人材育成
- 官民協働のまちづくりの推進
- 地域特性を活かしたまちづくりの推進
- 持続的、自発的な地域活動の推進
- 地域情報の発信

①

②

③

1　火の君カフェ事業 【継続】
まちづくりの拠点となるプラットホームの構築事業。
毎月１回　城南まちづくりセンター会議室　参加者15名程度　※写真①

2　火の君商品開発塾事業 【拡充】
城南町産の蓮根を使用した惣菜パン「パンdeレンコン」に加え、城南町産ヴァニラビーンズを使用した城南ヴァニラティやヴァニラプリン等を商品化し販売。9月にヴァニラ商品を使用した「AFTERNOON TEA IN JONAN」を開催。※写真②・③

3　婚活イベント事業 【継続】
少子化対策、定住人口の誘引、地域活性化を目的とした婚活イベントを開催。
令和6年度は「婚活お料理教室」「婚活BBQ」の２回実施。 ※写真④

4　nansama城南事業　【継続】
城南町の魅力を発信し交流人口の拡大を図るため、吉野山茶摘フットパスやイチゴ苗植えなど、城南町体験事業を実施。また、城南町商工会青年部をはじめとした各種団体と連携し、「城南夏まつり」や「あきげしき幻灯彩」など集客力の高いイベントを開催。加えて、令和6年度は森の都推進部と連携し緑の基本計画アクションプラグラム事業や花博2024とのタイアップイベントを実施。※写真⑤・⑥・⑦

5　火の君お助けマップ事業 【継続】
城南町は人口（子育世代）が増加していることから、新たに城南町にお住いになる方々へ地域の魅力を発信するとともに、シビックプライドの醸成を図るため「火の君初心者マップ」を毎年更新。新たにサイクルマップの作成を検討。※写真⑧

6　広報事業【継続】
SNSを活用した広報手段に加え、ラジオ等を活用し城南町の魅力やワンダホーの取組を発信。
（ラジオ）熊本シティエフエム FM791「朝リズム」「校区の力」で各事業の周知
（ＳＮＳ）Facebook、Instagram、YouTube
（その他）隈庄小学校でのまちづくり講座の実施

④

⑤

⑥

⑦

⑧

21　地域とつくるまちづくりイベント事業（南部まちセン）

目的

◆ 自分たちの住む地域の魅力発見による地域愛の醸成、地域コミュニティの活性化を図る。また、企画段階から地域の協力者に参加してもらい、そのアイディアを形にした内容とすることで、地域の人材育成やまちづくりに対する意識向上を図る。

実績

◆二次元コードを活用したクイズラリー
～ナゾトキディスカバーinりきごうにし～

【日時】　令和6年12月1日（日）10時～（2時間程度）

【場所】　力合西小学校

【参加者】　57組、192人（大人73人・こども119人）

【内容】　9箇所のチェックポイントにある二次元コードをスマホで読み取り、クイズに答えながら、集めたキーワードによる最終問題に回答。
最終問題回答から優秀賞を選定。

【参加賞】　南区オリジナルグッズ・飲み物・菓子類※地域団体提供

【優秀賞】　南区オリジナルグッズ及び防災用品の詰め合わせ（1組選定）

22　南区“いきいき”地域連携事業（総務企画課）

目的

◆区民一人ひとりの健康増進とともに、人と人との交流を深めることで、南区民としての一体感の醸成に繋げる。
◆南区の特徴である豊かな自然に触れ、健康づくりのための身体活動を促進する。

実績

◆第７回穴掘り大会2025
・開催日　令和７年２月２３日（祝）
・場　所　加勢川河川敷　新町橋一帯
・申込数　３２８名（７２チーム）
【主催】南区を自然でつなぐ実行委員会

昨年度の優勝チーム

23　南区まちづくり懇話会（総務企画課）

目的

◆区民、地域団体等との「協働」によるまちづくりを推進するために、区の特性を生かした魅力あるまちづくりに関する事項について協議する。

実績

●R6.5.28　第1回まちづくり懇話会開催
議題：次年度以降の南区まちづくりの取組方針の検討について
●R6.8.7　第2回まちづくり懇話会開催
議題：次年度以降の南区まちづくりの取組方針の決定について
●R6.11.19　第３回まちづくり懇話会開催
内容：今年度の南区まちづくり推進事業の体験会
●R7.2.12　第4回まちづくり懇話会開催
議題：本年度の南区まちづくり推進事業の振り返り　ほか

第１回

第2回

第3回